

# おかげさまで創立 30 周年を迎えました



三信インターナショナル有限会社

\*\*\*\*\*  
**ブラジルニュースメールマガジン No. 001 (2019年3月5日号)**  
\*\*\*\*\*

◎三信インターナショナルでは、これから皆様にご興味を持ってお読みいただけるようなブラジルの今に関わるニュース・情報を、ブラジル駐在員からのホットな情報も含め、メールマガジンとして毎週お届けしていきたいと思っております。ご愛読のほどよろしくお願ひ致します。また、ご意見、ご希望、ご質問などございましたら随時受け付けておりますのでとどしお寄せください。

## 1. 政治・経済トピック：

### ◆ブラジル、最難題の年金改革に挑む：

ブラジルのボルソナーロ大統領は2月20日、年金支給開始年齢の引き上げを柱とする年金改革法案を議会に提出しました。ブラジルの年金制度は平均寿命が75歳となっている今でも50歳代から受給できる上、額も大きく財政赤字の要因となっています。給付額を抑えることで財政再建につなげるのが狙いです。年内成立をめざしますが、上下両院で5分の3の賛成が必要であり、国民の反発も避けられない状況で予断を許しません。

さらに、支給額の高さも問題です。経済協力開発機構（OECD）によると、現役世代の平均的な手取りに対する年金額の比率は14年時点で約76%とOECD加盟国平均の63%を上回っています。過大な給付を保険料で賄えず、2017年は民間企業勤務者と公務員（軍人除く）を合わせた年金支給額の約4割が国庫負担となったとのことです。

(2月22日付日本経済新聞より)

### ◆市場は2019年低インフレと2020年の高いGDPを予想：

中央銀行が2月25日に発表したFocus Marketのレポートによると、国内総生産（GDP）の成長の推定値が2020年は2.58%から2.65%に上昇しました。2019年については、予測は2.48%で変化はありませんでした。為替レートおよび金利の予測は一定のままです。レポートによると、2019年は1ドル＝3.75リアル、2020年には3.70リアルで終わると確信しています。金利は2019年は年間を通して6.50%の現在のレベルを維持して、2020年1月に高くなり、8%で年を終えたと見えています。(2月25日付エスタード紙より)

### ◆38.9%がボルソナーロ大統領をととても良い、或いは良いと評価：

2月26日に発表された、ブラジル輸送協会(CNT)がブラジルの調査機関(MDA)に依頼した調査によると、ブラジル国民はジャイル・ボルソナーロ大統領の政府について楽観的に見ているとの調査結果が出ました。調査によると、38.9%のブラジル人が、新大統領の政府は「大変良い」または「良い」と考えていることを示しています。調査は、25の州の137の市で、2月21日から23日の期間、2,002人が対象とされました。

(Poder360 Jornalismo e Comunicação S/S LTDA より)

### ◆ブラジルの2018年実質GDP成長率は2年連続のプラスの前年比で1.1%：

2月28日ブラジル政府が発表しました。2年連続のプラス成長とはなったものの、伸び率は17年の1.1%から横ばいで、5月にトラックやバスなどの運転手組合の大規模ストライキが発生し、ブラジル全土で一時的に物流網が止まったことが成長鈍化の大きな要因となったとのことです。

(3月1日付日本経済新聞より)

## 2. 社会的できごと

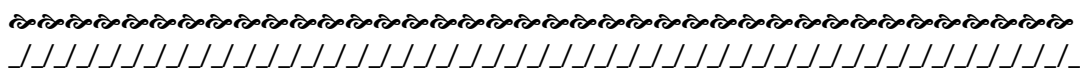
### ◆コーヒーの価格値下がり：

コーヒーの国際価格が下落しています。指標となるアラビカ種のニューヨーク市場の先物（期近）はこの1カ月ほどで9%安くなりました。供給増加に加え、ブラジルの通貨レアル相場下落で輸出が増えるとの見方が増えています。ドルに対しレアル相場が下落しており、ブラジルの輸出増も連想され、投機筋の売りが膨らんでいるとのことです。  
(2月26日付日本経済新聞より)



### ◆リオのカーニバル（ブラジル人はカーニバルで平均 R \$ 630 の支出）：

今年のリオのカーニバルの日程は、3月1日～6日となっています。  
カーニバルは踊り、飲料、喧騒だけでなく、経済活動に欠かせないものです。サンバグループでの買い物やカーニバル会場での見物客の買い物、喧騒から逃れたい人達の旅行、またはブラジルのお祭りに来る観光客も、カーニバル連休の経済を動かすことに関してはすべてが役に立ちます。  
ブラジル経済におけるカーニバルの経済効果を測定するために、信用保護サービス（SPC Brasil）はカーニバルの日へのブラジル人の興味を調査し、その結果、消費者の62%が今後数日間パーティーに参加するつもりであり、回答者の39%が住んでいる町を離れ、31%が彼らの住んでいる場所でお祭りを楽しみ、20%が家にいる予定です。  
カーニバル中の平均消費支出は633.97レアル（約19,000円）です。最も人気のあるものは、ビールやカクテル類（49%）、水、ジュース、エナジードリンク（46%）、ソフトドリンク（42%）などの飲料で、その他に外食（49%）、バーベキュー関連品（40%）となっています。また、インタビュー対象者の28%が仮装用衣装や装飾品をあげています。  
(3月2日付 Istoé Dinheiro 誌より)



## 3. ブラジル鶏肉関連：

(ブラジルの2019年2月鶏肉輸出について)

2月第4週の鶏肉の輸出出荷量は260,200トン、金額はUS \$ 413.7百万に達する見込みです。4週目までの16日の営業日の累計では、1日の平均は16,262トンとなり、1月の平均11,800トンに比べ37.8%増加しました。前年同期比では、増加は僅かで0.6%でした。1トン当たりの価格は3週目の価格の1,590.5ドルより僅かに少なく、1,589.89ドルでした。しかしながら、この価格は1月の1,563.89ドルよりも高い額です。前年同期比は2.7%高くなりました。この1日平均出荷量は前月比約38%多く、また前年同期比約1%多くなります。  
(2月26日付 avicultura industrial“養鶏産業”紙より)

## 4. 為替レート：

	TTS	TTB
ブラジルレアル/円：	31.69	27.69
USドル/円：	113.03	111.03
USドル/ブラジルレアル：	3.57	4.01

(三井住友銀行 EXCHANGE QUOTATIONS 2019年3月4日付より)

## 5. 長短期金利動向：

短期金利(6ヶ月)： 6.413% (2月27日付)  
長期金利(1年)： 6.518% ( “ )

(Banco MUFG Brasil S.A. 2019年2月27日付)

## 6. 株価動向：

Bovespa 指数: 94,603.75 前日比 ↓-980.60 (-1.03%)

(Yahoo! JAPAN ファイナンス 3月1日付)

## 7. ブラジル面白情報：

### (ブラジルの巨大企業紹介 … その1.)

#### VALE (ヴァーレ)：

かつてはリオドセと呼ばれていたブラジルの総合資源開発企業でありブラジルを代表する民間企業です。本社はリオデジャネイロにあります。事業の柱は、資源、ロジスティクス、発電の3つになります。資源では主力商品は鉄鉱石であり、鉄鉱石の生産・販売のシェアは約35%で世界一です。ヴァーレとリオ・ティント(英/豪)とBHPビリトン(英/豪)の鉄鉱石3大メジャーで、世界の鉄鉱石輸出の約80%を占めています。鉄鉱石以外に採掘しているものは、ニッケル、マンガン(世界第2位)、ボーキサイト、銅、金、炭酸カリウムなどがあります。ロジスティクスではブラジルの鉄道網の60%を所有ないしは運営し、8つの港湾と2つの海運会社を持っています。

最近では、管理しているミナスジェライス州の採掘場にあるダムが決壊で死者行方不明者300人超と言われる犠牲者を出す大事故を起こし、ニュースで大々的に報じられました。

(出展：Wikipedia、ブラジルの事がマンガで3時間でわかる本[明日香出版社])

以上